

交通安全オータム・フェスティバルを開催

町内外から約 300 人が参加

秋の交通安全運動に合わせ、北海道警察と訓子府町の主催で「交通安全オータム・フェスティバル」を9月22日に町公民館で開催し、約300人が来場しました。

フェスティバルでは、町内各小学校3年～6年生を対象にした交通安全標語展の表彰式や町内小・中学校吹奏楽部、北海道警察音楽隊のそれぞれの演奏、3団体による合同演奏、北海道警察音楽隊とカラーガード隊によるステージドリルなどが行われ、会場は盛り上がりしました。

北海道警察音楽隊の演奏では、曲に合わせて交通安全を呼び掛けた演出も行われ、交通安全の意識向上を図りました。



交通安全標語展 入賞者を発表

【最優秀賞】

訓子府町賞

居武士小学校 6年 手塚 響規さん

少し待とう その気持ちで 未来は変わる

【優秀賞】

訓子府町教育委員会教育長賞

訓子府小学校 6年 結城 美亜里さん

確認だ シートベルトは いのちづな

【優秀賞】

北見警察署長賞

訓子府小学校 4年 鈴木 祥太さん

まがりかど 車がくるぞ 要注意

訓子府小学校 5年 松浦 奏馬さん

信号を ちゃんと守ろう 君のため

高齢者の交通事故防止を

これからの季節は日没時刻が早くなるとともに、降雪の時期に向かっており、車を運転する方は細心の注意が必要です。

特に近年は、全国で高齢ドライバーによる交通事故が増えています。季節的要因のほか、運転操作ミスも事故の要因となっています。全国の警察や自治体では、高齢者の交通事故防止のため、さまざまな対策、呼びかけを行っています。

北海道警察の交通事故概況では、平成29年度内の交通死者数は148人。このうち65歳以上の高齢者は半数の76人となっています。さらに76人のうち26人が運転中でした。

高齢ドライバーの事故の要因は、ハンドルやブレーキの操作ミス、注意力や集中力、瞬間の判断力の低下などの事例が多いようです。

高齢ドライバーの方は、早めのライト点灯や安全な速度での運転を心がけましょう。また、高齢歩行者の事故も多く、道路の横断など安全確認の徹底と、余裕をもち無理をせず安全な歩行を心がけましょう。

町は、各種啓発活動を実施するなど高齢者の安全運転意識や危機意識の向上、高齢者運転の特性への理解を深める活動に取り組んでいます。



▶高齢ドライバーの安全運転のポイント

- 常に先の状況に目を配り、前の車の減速を先読みして早めにブレーキを！
加齢に伴い、危険に対する反応時間が延びて、ブレーキが間に合わない恐れがあります。
- 交差点では、意識的に首を左右に振り、交差道路の安全確認！
加齢に伴い、視野が狭くなるなど視機能が低下し、危険を見落とす恐れがあります。

安全運転のための高齢者講習

北見運転免許試験場では、次の講習を実施しています。

■運転免許更新時の「高齢者講習」の受講

- ・70歳以上の方は、運転免許更新の際に「高齢者講習」の受講が義務付けられています
- ・75歳以上の方は高齢者講習の前に「講習予備検査（認知機能検査）」も義務付けられています（認知機能検査の結果によっては免許が取り消される場合があります）

■「高齢運転者標識（高齢運転者マーク）」の表示

- ・70歳以上のドライバーが運転する車に表示することができます。周囲の自動車運転者は、マークをつけた自動車に配慮することが義務付けられます



運転免許証の自主返納をご存知ですか

運転免許証の自主返納は、運転免許の有効期限内に自らの意思で運転免許の取り消しを申請することで、すべての免許を取り消すことができる制度です。

取り消しを申請した日から自動車などの運転はできなくなります。が、有料で身分証明書として使える「運転経歴証明書」を交付してもらうことができます。



高齢者運転講習・免許証自主返納に関するお問い合わせは、北見運転免許試験場(☎ 36-7700)へ。